

○北海道命名150年記念 インフラ歴史ツアー (五感で感じよう! 十勝農業の歴史)

【概要】

ツアーテーマ 『日本の食卓を支える十勝農業とその礎となるインフラをめぐる』

◇国内有数の農業基地として有名な十勝地方ですが、開拓以前は火山灰性土壌や湿地が広く分布しており、農業に適していない土地でした。また、この地域を流れる十勝川や札内川は、度々氾濫し、水害を引き起こしていました。

◇明治初期の「晩成社」による開拓や、その後の土地改良事業により農作物の生産性が向上。また、治水事業により水害が抑制され、安心して生活や農業が営めるようになりました。

◇平成28年夏には、台風による洪水で農地の表土が流出し、十勝農業に大きな被害が生じました。この被害は、十勝地方のみならず、首都圏で野菜価格の高騰を招くなど、全国に影響を及ぼしました。

☆本ツアーでは、開拓以前は農業に適していなかった十勝地方が、日本を代表する食糧基地となるまでに発展してきたその歴史を振り返り、農業を守るインフラの現場を実際に見学することで、日本の食卓を支える十勝農業とその礎となるインフラの効果を体感します。

催行予定

平成30年9月～10月の期間内で2回まで【土日祝日可】(日程は調整の上決定)

ツアー定員

各回 40名